

スズカケソウ

7月4日東山公園

山伏が身に着けているポンポンのような飾りの鈴懸に似ているのでスズカケソウと呼ばれています。確認されている自生地は徳島県つるぎ町に限られていて、絶滅危惧 IA 類に指定されています。



江戸時代には園芸植物として栽培されていたといわれています。

7ミリほどの濃い紫色の花がたくさん集まって咲いています。とげとげした針のように見えるのは、それぞれの花の2本ずつのおしべなのだそうです。

てっきりめしべかと思いました。